

三鷹市立大沢台小学校 令和5年度【家庭】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第5学年	<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何度も繰り返し練習することや、教え合いをすることで一人ひとりの技術アップにつながった。 ・調理は、宿題にして家庭での関わりが増えたことはとても良かった。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理はできなかったもので、動画や宿題での学習のみとなった。実演でないと分からないことは、来年度実施できると良い。 	<p>〈学習状況の現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手縫いやミシンでの針の扱いには個人差が大きく、継続的な指導が必要である。 ・家庭での調理活動の経験が少ないため、安全面から丁寧に指導する必要がある。 ・体験的な活動（制作）では、主体的に取り組み、自分のアイデアを生かしながら計画を立てたり、実践したりする児童が多い。 	<p>〈指導方法の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手縫いの指導や、個別対応する時間が十分に確保できていない。 ・裁縫や調理などの活動には意欲的に取り組めるが、知識を学ぶ学習になると受け身になってしまう。 <p>〈授業改善策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作・調理の際に使用する道具や機器の正しい使用方法を理解させるために、ICT機器や掲示物等を活用して、動画や写真で分かりやすくし、いつでも確認できるようにする。 ・ペアやグループで教え合う時間を設けたり、教員が個々の学習状況を的確に把握したりして、補充が必要な児童に支援できるようにする。また、必要に応じて保護者等のサポート隊を活用する。 <p>◎「自分が使う」、「家族のために」など、学習がどのように生かせるかを明確にして課題を出すことによって、より意欲的に、工夫して学習ができるようにする。</p>
第6学年	<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を講じた上で、調理実習を行うことができた。教え合いを取り入れたことで、洗濯や裁縫などの教え合うことで、身に付く児童が増えた。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習が1回しかできなかったため、個人差があった。 ・引き続き、家庭と連携して技能を身に付けていく必要がある。 	<p>〈学習状況の現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族が自分の身の周りのことをしてくれていることや、家庭生活の大切さに気付いている児童が多いが、定着状況を把握しにくい。 ・洗濯や裁縫、調理など、自分の日常的に必要な技能を身に付けられている児童が多いが、個人差がある。 ・自分と家族などとの関わりについて考えたことを実践できた。しかし、普段家族にしてもらっていることが多く、自分のできることを増やせていない児童がいる。 	<p>〈指導方法の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗濯、裁縫など個人の活動が多く、個人差が大きい。 ・家庭生活での役割や仕事について理解したことをその後の生活へつなげていくことができていない。 <p>〈授業改善策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で学習したことの課題を見付けて、自ら課題を解決できるような計画を立て、取り組めるような機会を作る。 ・個人差が大きくなる活動は、教え合いを取り入れ、互いに助け合いながら身に付けられるようにする。 <p>◎家庭で体験したことを交流する時間を十分にとり、自分の役割を自覚するとともに、実生活に生かすよさを味わえるような授業を計画する。</p>